

建設

四月號

第四卷 通卷第23號 第四號



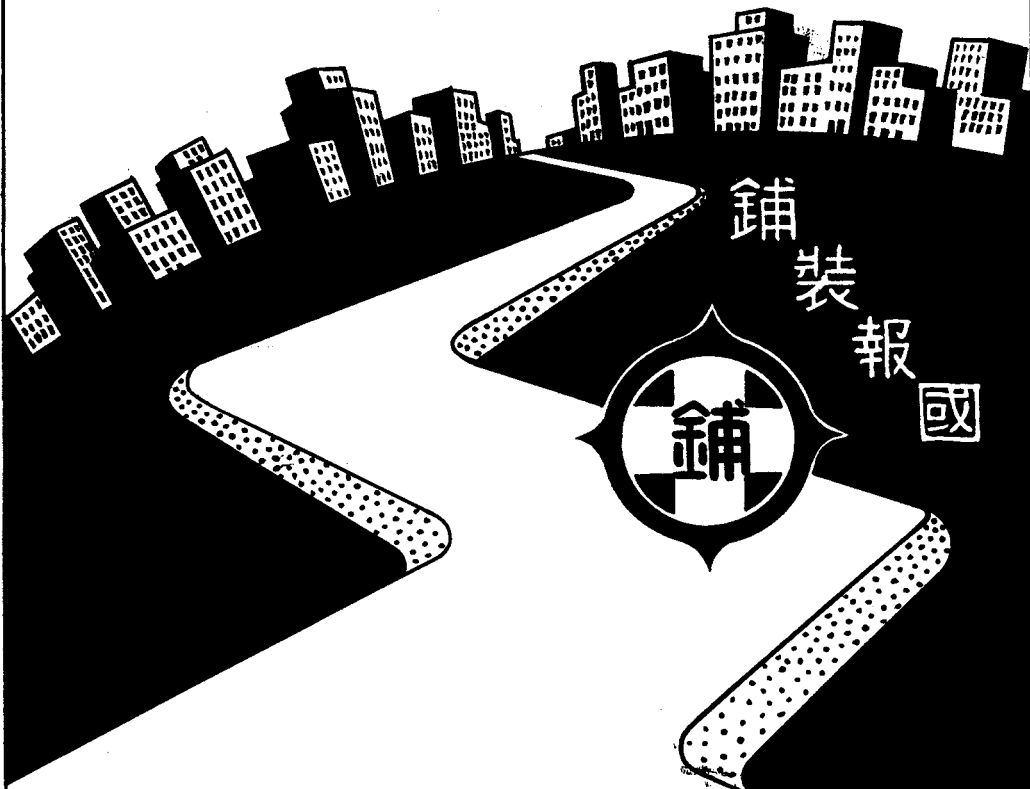
滿洲土木研究會

特許ワーレナイトピチュリシツク舗装

特許ベノリシツク舗装

特許マカダミツクス舗装

アスファルト其他各種舗装並ニ一般土木建築



本社 東京・丸ノ内

日本舗道株式會社

出張所 新京曙町三ノ二二・電話3-4766

各地出張所

東京。横濱。名古屋。京都。大阪。福岡。臺北。札幌。京城

建 設

四 月 號

第 4 卷 第 4 號

通 卷 第 23 號

康 德 6 年 4 月 1 日 發 行

目 次

表紙	水 温 ま る	
口 繪	鑿河橋架設工事グラフ	
卷 頭 の 辭T. Y 生	1
複素函數論の水理學への適用(其の一)永井莊七郎	2
出版物發賣通知	10
奉天渾河橋計畫洪水量の考察(其の一)山崎 浩	11
橋梁工事に於ける寒中混凝土試験前田 稔・瀬戸一郎	24
會員諸氏へ御願ひ	30
鑿河橋架設工事報告本木善兵衛	31
會 報	40
編 輯 後 記	40
廣 告	

滿洲土木研究會役員

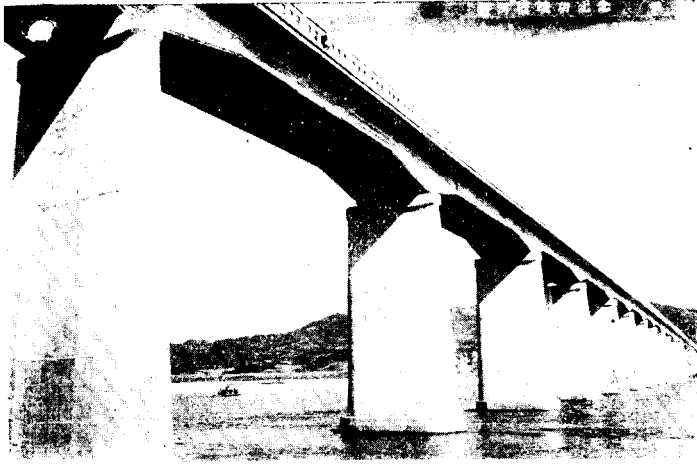
會 長	直 木 倫 太 郎		
理 事	近 藤 安 吉	坂 田 昌 亮	原 口 忠 次 郎
	本 間 德 雄		
常任幹事	大 石 義 郎		
幹 事(新京)	内 田 弘 四	浮 洲 實	片 岡 武 雄
	高 野 宗 久	田 村 初 代 志	照 井 隆 三 郎
	廣 岡 勝 治	前 田 稔	源 川 豊 一 郎
	米 田 正 文		
	(地方)伊 地 知 綱 彦	五 十 嵐 眞 作	伊 藤 茂 利 三
	太 田 哲 夫	王 達	夏 儒 聘
	佐 藤 九 郎	周 鴻 恩	種 谷 實
	東 城 源 三	林 鷹 一	松 本 進
	渡 邊 幸 三 郎		山 岸 貞 一
編 輯 員	中 村 佳 教	丹 生 田 武 男	原 雪 雄
編 輯 囑 託	濱 豪 質	湯 淺 三 二 郎	村 木 伊 英

(五十音順)

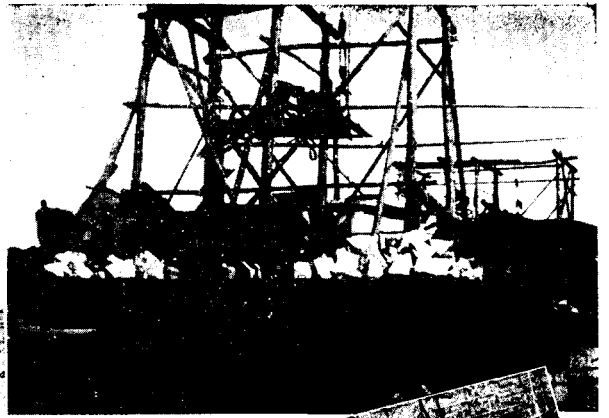
滿洲土木研究會々則

- 第1條 本會ハ土木ニ關スル研究、調査ヲナシ以テ滿洲土木事業ニ貢獻セントスルモノナリ
- 第2條 本會ハ滿洲土木研究會ト稱ス
- 第3條 本會ハ本部ヲ新京ニ置ク、尙必要ナル地方ニ支部ヲ設クルコトヲ得
- 第4條 本會ノ會員ハ特別會員、正會員、學生會員ノ三種トシ左ノ通定ム
- 1、特別會員ハ本會ノ趣旨ヲ贊シ事業達成ニ協力援助スル法人又ハ團體
 - 2、正會員ハ左ノ資格ヲ有スル者トス
 - イ、滿洲ニ於ケル土木事業ニ携ル者
 - ロ、其ノ他土木事業ニ關シ學識經驗アル者
 - 3、學生會員ハ公私立土木關係學校ニ在學スル學生、生徒
- 第5條 會費ハ正會員ハ年額6圓、學生會員ハ年額3圓トス
- 第6條 本會ニ會長一名及理事、幹事、委員各若干名ヲ置ク
- 第7條 理事ハ在京會員中ヨリ會員之ヲ選舉シ、會長ハ理事ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
- 第8條 幹事ハ理事會ノ決議ニヨリ會長之ヲ委囑ス
- 第9條 本會ハ必要ニ應シ各種委員ヲ置クコトヲ得、委員ハ役員會ノ決議ニヨリ會長之ヲ委囑ス
- 第10條 役員ノ任期ハ一箇年トス
- 第11條 本會ハ其ノ目的ヲ達成スル爲左記事業ヲ行フ
- 1、機關誌ノ發行
 - 2、土木ニ關スル圖書ノ編纂發行
 - 3、講演會、講習會、見學會ノ主催並ニ後援
 - 4、右ノ外本會ノ目的達成ニ必要ナル事業
- 第12條 會則ノ改正ハ役員會過半数ノ承認ヲ要ス
- 附 本會則ハ康德6年1月1日ヨリ施行ス

以 上

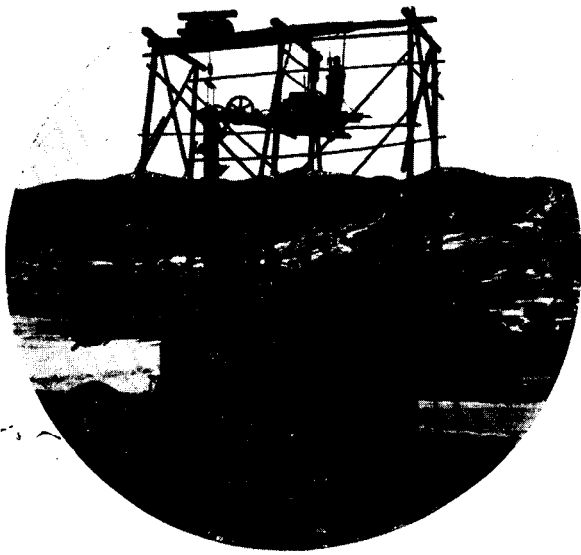


↑ 側面(右岸ヨリ左岸ヲ望ム)

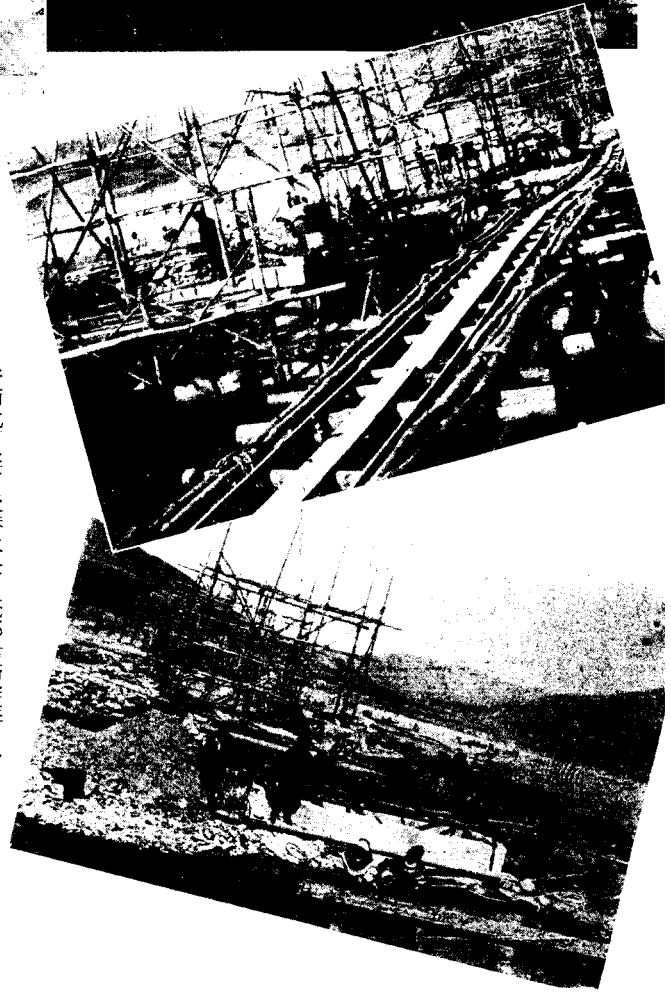


← 井筒沈下實況

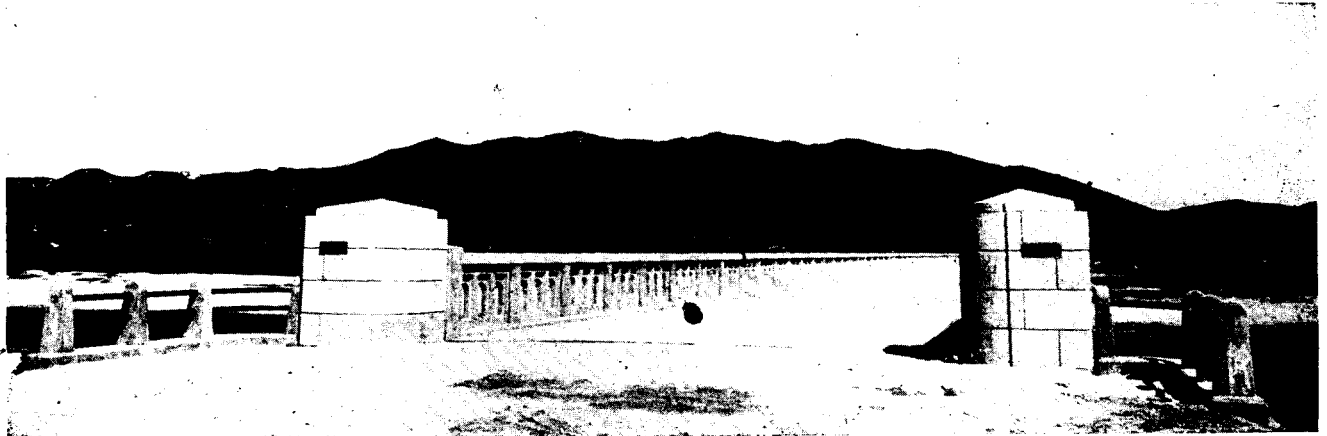
↓ 井筒沈下實況

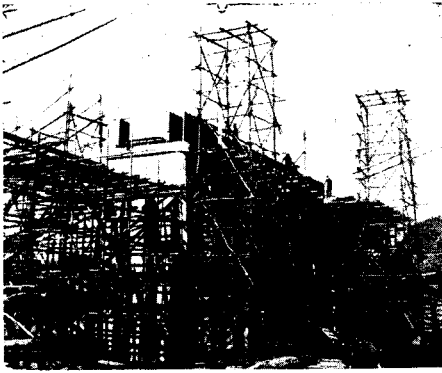


井筒沈下終了後潜水夫ノ底部清掃作業 →



↓ 右岸正面(安東側ヨリ寛甸側ヲ望ム)

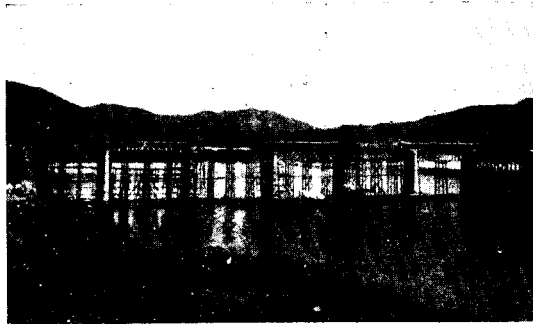




↑ 桁支保工作業實況



↑ 竣工ノ全景(安東側上流高所ヨリ下流ヲ望ム)

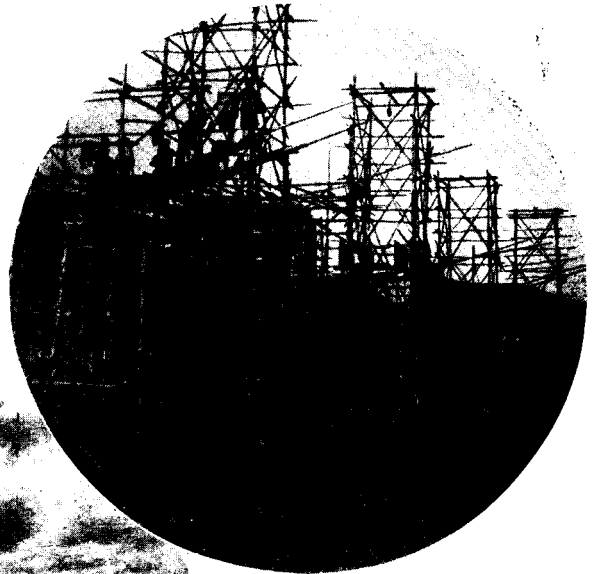


← 支保(工河中作業)

↓ 支保工(陸上作業)



↓ 右岸正面(安東側ヨリ寛甸側ヲ望ム)



↑ 橋脚(1ロット)混凝土打作業實況

